

快感はどこで生まれるか： 視床下部オキシトシン系による多感覚統合の回路基盤

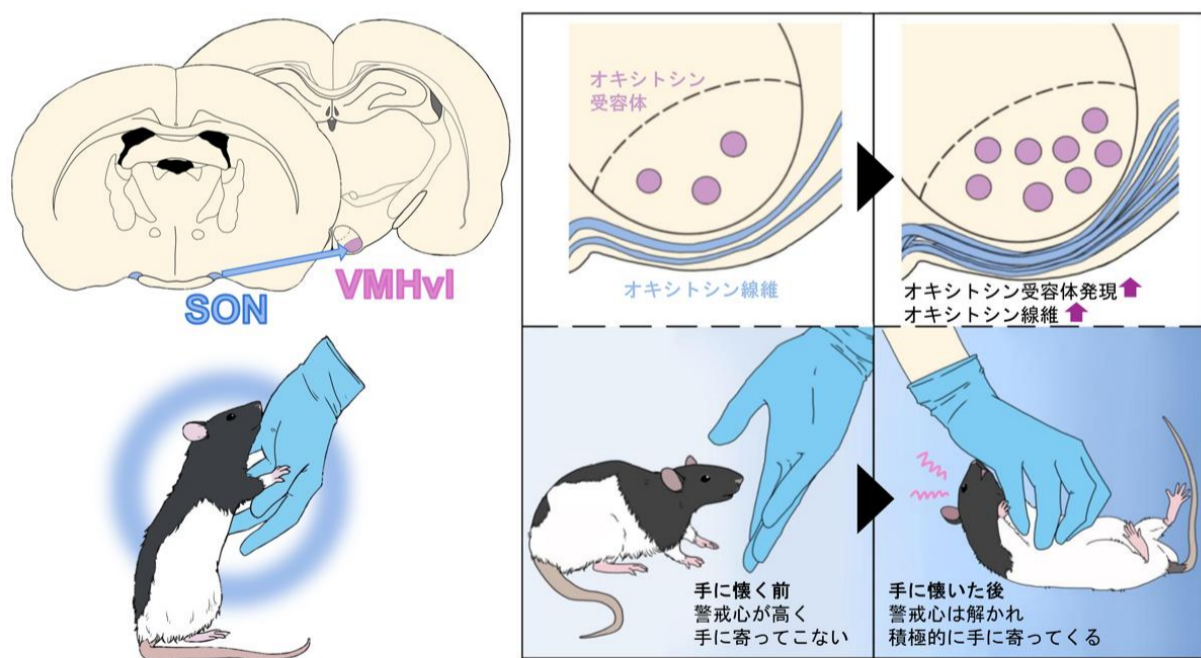
講師：坂本 浩隆 先生

岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域(理学部生物学科) 教授

日時： 2026/6/26(金) 16:30~17:30
(18:00まで延長の可能性あり)

場所： D120

好きな人に触れられると心地よく、嫌いな人に触れられると不快に感じるのはなぜでしょうか。その鍵を握るのが、「愛情ホルモン」オキシトシンと「幸福ホルモン」ドーパミンです。「快情動」は単なる感覚ではなく、多感覚の統合によって形成され、行動を方向づける脳の内的状態です。本セミナーでは、本来ヒトの手を避けるはずのラットが、接し方次第で自発的に手に乗るようになる「手乗りラット」モデルを用いて、触れられる「気持ちよさ」が脳内でどのように処理され、親和行動を引き起こすのかを紹介します。



ラット→ヒトの手への愛着形成はVMHvlのオキシトシン受容体発現ニューロンによって制御される

視床下部のオキシトシン系がラットとヒトの手の間の
愛着形成を促進する



ライフサイエンスセミナーは、生体の機能や構造に関する研究を基礎から最前線までわかりやすく解説するセミナーです。教職員、大学院生、学部学生、どなたでも興味のある方は是非ご参加ください(学内者に限りません)。

連絡先：
高浪景子 (生活健康学コース) 電話 20-3336
E-mail: takanami@cc.nara-wu.ac.jp